

# 神高SSH通信 2014

## 第4回サイエンス・インカレ研究発表会について

### - 学生による自主研究の祭典 -

第4回サイエンス・インカレ研究発表会が、神戸で開催されます。サイエンスインカレとは、大学生の能力・研究意欲を高め、創造性豊かな科学技術人材を育成することを目的に、自然科学分野を学ぶ全国の学生が自主研究の成果を発表し競い合う場です。参加するのは大学の理系学部等の1～4年次、高等専門学校4～5年次の学生で、予選選抜を経てインカレで発表できるようになるという大変レベルの高い研究発表会です。また、現役大学生、大学院生はもちろん、大学の先生方や研究者も数多く参加されます。なお、高校では県内のSSH校9校だけが、ポスターセッションに参加が認められており、本校からも課題研究[コウベマイマイの新たな分類の可能性を考える～神戸を模式産地とする3種を中心としたマイマイの遺伝子解析から～]が、ポスター発表する予定です。大学の先生方や研究者等からアドバイスをもらういい機会ですから、発表班だけでなく他の多くの生徒の参加を期待しています。



日 時： 2月28日(土) 10:00～19:35 3月1日(日) 10:00～16:30

2/28 ポスター掲示 12:00～16:00 ポスター発表 16:10～19:10(ポスターセッション)

場 所： 神戸国際会議場 5F (神戸市中央区港島中町 6-9-1)

## 第29回日本医学会総会 2015 関西

### 医学と医療の革新を目指してー健康社会を共に生きるきずなの構築ー

日本医学会総会は、4年に1度行われる各医学関係学会の連合した総会です。本会では、医療関係者向けの学術講演・学術展示が京都、一般公開展示(未来医XPO'15～あなたの暮らしと医の博覧会～)が神戸で開催されます。一般公開展示は、多くの一般市民と医学医療関係者の交流、次世代を担う小学校高学年から高校生に医学と医療を中心に科学への興味を喚起することを狙いとしています。また、兵庫県SSH校展示ブースに本校からも出展します。さらに当日は、イベントへの出展だけでなく多くの医療関係者も来場する予定です。本校から出展する総合理学科のメンバーはもちろんですが、少しでも興味ある人は総合理学科、普通科の別なくぜひ参加してください。

### SSH校生徒によるポスターセッション (兵庫県SSH校展示ブース)

日 時： 3月31日(火) 10:00～18:00 (ポスター掲示 10:00～15:00 ポスター発表 13:00～15:00)

場 所： 神戸国際展示場 2号館 2階 2A会議室 (サイエンスフェアと同会場の2階企業ブース)

その他：参加費は無料です。

なお、昼食はポートアイランド市民広場で開催中の神戸グルメエキスポ(有料)を利用できます。

※今回の本校からの参加班は、人体・生物・食物栄養に関わる班のみの出展となります。

班	出展タイトル
参加班①	カワムツの食性を多角的に考察する
参加班②	学習に最適な色とは？ ～英単語の暗記で悩むすべての高校生たちへ～
参加班③	茹で時間によるビタミンCの量的変化
参加班④	野菜や植物でカビの繁殖を抑制
参加班⑤	地衣類から新抗生物質を見つける
参加班⑥	コウペマイマイの新たな分類の可能性を考える ～神戸を模式産地とする3種を中心としたマイマイの遺伝子解析から～

## SSHアンケートの実施について考える

1月下旬から2月にかけて、全校生(12年)に対してSSH事業に関するアンケート調査を実施しました。また、一部の生徒には科学技術振興機構(JST)からのアンケートもありました。このようなアンケートは面倒だとか、自分には無関係だとか思いながら、回答した人はありませんか。そもそも、SSH事業が総合理学学科だけのものだと勘違いしている人も……。しかし、それは違います。

わかりやすい例を挙げましょう。皆さんはこの1年で、全員がプロジェクタに写された映像やスライドを見ていますね。講堂での行事を思い出せばよいです。この約100万円の明るいプロジェクタによる資料提示の効果は絶大ですが、もしSSH事業がないとすれば、プロジェクタを購入するためには他の教材・教具をあきらめたり電気代をさらに節約する等を重ねて、100万円を捻出する必要があります。

本校は、年間2000万円近い補助をJSTから得て、本校の教育と地域拠点校としての活動を行っているのです。このような学校は、県下では他にありません。本校と同じ教育を、補助なしで実施することは不可能です。つまり、SSH事業によって現在の質や内容が保たれている授業や行事が少なくないことを理解してください。物品だけの話ではなく、本校の教育は、大学や研究所の最先端の科学技術を担っている方々と直接関わりながら進め、その年の成果を年度末に確認し、改善を繰り返して積み上げています。もう、皆さんには、年度末の調査の必要性が理解できたのではないですか。

文部科学省が指定するSSHでは、

- 大学や研究機関等とも連携して魅力的なカリキュラム(授業や行事等)を開発すること
- SSH指定校を拠点校として地域に対して成果を普及すること

等を行います。といっても、その活動を実際に行っているのは、指定を受けた本校です。当たり前のことですが、本校生に普及させずに地域への成果普及なんて成り立ちませんね。すなわち、「生徒全員への普及」から地域への普及という具合に広がっていくのです。本校は、他校ではまねができない授業や行事を行って皆さんの個性や能力を一層のばしつつ、将来の夢の具体化や実現のために力を注いでいきます。そして、それらの教育方法を公開し輪を広めることで、成果を普及させます。

今年度のSSH事業はほぼ終了し、現在は次年度の計画を立てるために効果を検証している真っ最中です。事業の方向性は、皆さんの回答の影響を大きく受けます。すなわち、教育の向上のために、「生徒全員」の回答が役立っているのです。

4月から、さらに改善されたカリキュラムに興味を持ち授業に集中することについてはいうまでもありませんが、加えて是非、積極的にSSHの活動に参加しましょう。そのためにも、今後ともSSH通信をよく読んでください。校内における科学系オリンピックの参加やその学習会、SSH特別講義、各種実験観察会、校外におけるサイエンスツアーや実験会、施設見学等の様々なイベントを、次年度もSSH通信で案内していきます。

